



図書室だより Vol.52



いつも、文化の森てんえい「図書室」をご利用いただき、ありがとうございます。

◆8月30日（日）に文化の森てんえい多目的ホールにて、読み聞かせ会が行われました。絵本や紙芝居の朗読に、皆さん楽しい時間を過ごしていました。
次回は、9月27日（日）14時からです。

◆今月は、秋のおつきさまの絵本コーナーを設けました。また、話題図書も入っておりますので、是非、お越しください。お待ちしております！！



森の美術館



おしゃれで穏やかでみんなに尊敬されていた父の衝撃の姿を見る。絵を趣味としていた父は、部屋いっぱいに、卑猥な絵を描いていた。もし、家族が認知症になったら、徘徊、暴力、異食などを、繰り返すようになったら、介護を、続ける事ができるだろうか。経済的にも精神的にも疲弊するのは明らかだ。誰にでも起こりうることだが、人は自分がどのような最期をむかえるのか予測できない。が、医者である父には予測できた。そして、同じ考えの医師仲間と、ある盟約をむすんでいた。認知症、安楽死、深く考えさせられる一冊である。



【Y・Mさんおすすめ】 『ばあばは、だいじょうぶ』
楠明子・作 いしいつとむ・絵 童心社

いつも、つばさの話を、にこにこと優しい笑顔で聞いてくれるばあば。何があっても「つばさはだいじょうぶ」って、言ってくれるばあばが大好き。ところがいつの頃からか、ばあばはいろんな事が少しずつ出来なくなってしまう。「わすれてしまう」病気になってしまったのだ。大好きなばあばが、どんどんみんなに迷惑をかけるようになって行く……。老いるという事。いろいろな事を忘れていくという事。身の回りのお世話をしてもらうようになる事。このような、誰もが避けては通れない問題を、子ども目線で描いています。おすすめの絵本です。



【新着図書のお知らせ】

■文庫・一般・エッセイ・実用書■

『夜中の薔薇』
『眠る盃』
『夜は短し歩けよ乙女』
『人間失格』
『うちの執事に願ったならば』①②③
『軍師の生きざま』
『軍師の死にざま』
❀『首里の馬』第163回芥川賞受賞作❀
❀『破局』第163回芥川賞受賞作❀
『風を結う』
『オフマイク』
『52ヘルツのクジラたち』
『一人称単数』
『夢をかなえるソウ4』
『穏やか貴族の休暇のすすめ。』⑤⑥
『結婚させる家』
『カインの傲慢』
『筒井康隆コレクションⅡ 霊長類南へ』
『ワイルドサイドをほっつき歩け』
『thinkright』
『美女ステイホーム』
『88歳の自由』
『野村克也の人間通』
『志村けん「笑いの神様」の一生』
『天下人と二人の将軍』
『面白くて眠れなくなる「古事記」』
『55歳になったら遺言を書きなさい』



向田邦子
向田邦子
森見登美彦
太宰治
高里椎奈
池波正太郎他
司馬遼太郎他
高山羽根子
遠野遥
あさのあつこ
今野敏
町田そのこ
村上春樹
水野敬也
峰
桂望実
中山七里
日下三蔵
プレイティみかこ
ロルフ・ドベリ
林真理子
曾野綾子
野村克也
しむけん研究会
黒嶋敏
島崎晋
井口麻里子

■えほん・児童書■

『世界一美しいメダカの育て方』
『動物の言葉』
『PANTANAL』
『身のまわりのもののできる手作りマスク』
『大人のおしゃれ手帖』
『LILY' SCLOSET』
『2LDK,5人家族。』
『今さら聞けない料理のこつ』
『カレンの台所』
『この子はこの子のままでいいと思える本』
『5分後に意外な結末・バラ色のトゲのある人生』
『5分後に意外な結末・チョコレート色のビターエンド』
『魔女のうらないグミ』
『コロッケです。』
『なまえのないねこ』
『マンガでよくわかるダンス入門』
『おにぎりをつくる』



戸松具視
日経BPムック
岩合光昭
寺西恵理子
宝島社
石田ゆり子
穴吹愛美
有元葉子
滝沢カレン
佐々木正美
桃戸ハル
桃戸ハル
草野あきこ
西村敏雄
竹下文子
エイベックス
高山なおみ



おすすめ本を書いてみませんか!

対象は文化の森てんえい『図書室』にある本です。
投稿文字数は200文字程度
掲載者にはお礼として**記念品**を贈呈致します。
皆様のご応募、お待ちしております。



ふたりしか思い出せない。ひとりは、江戸後期の安政の大獄で暗殺された井伊直政である。このふたりの「井伊」は彦根藩だったが、ルーツは静岡県浜松の北の井伊谷だと言う。そしてそこには、井伊直虎という戦国時代を生き抜いた女城主がいたという。

直虎は、井伊谷を治めていた井伊家の当主、直盛の一人娘に生まれ、近隣の大獄、今川、武田、徳川の野望に翻弄されながらも、井伊谷の民のために必死に世を渡っていく。しかし、戦国の世の習いとして、戦、調略、裏切りなどで、数々の家臣を失っていく。それは、私たちが知っている戦国戦国武将の華やかさはないが、このような星の数ほどもいた小国の気持ちに親近感を覚える。

本は、大河ドラマと同様の、構成なので非常に読みやすい。